国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 ヘ二-28

蝦夷島奇觀

ヘ二
28

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 ヘ二-28

特別

蝦夷島奇観

松前 夷名マツマエと云 福山より東 蝦夷地百里ヨサルモンベツ迄川あり
此辺奥よりヤイバルといへる年老の商長 僕 迎ひ
サルモンベツの陣より案内を以此処の二司来と以る
夷人の海猟アイノより万象集を右の事を能知れらと
称するに本方風とやあやめ風と訓ず
商長をいふ名也 北方夷人往古

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

特別

蝦夷島奇觀

松前夷名マツマエ北云マツマエ福山より東、蝦夷地百里半よりサルモンへ四里川あり
此辺夷ヤイハルといへる老年の酋長僕迎ひ道の傍らお迎て
サルモンへの陣屋にて二日休み二日来といへども
夷人の逼禰アイトいふ万象集に右の事を能知れども
故あつて此方風とも書やめ風と訓ず
間七名酋長を八苦敷設をなしきて北方東方
ヨリヤイハル曰古南方の神の国より女神を入奩舟に乗して
シツナイよ漂着しひろひ取育て事ありと黄金白銀水晶
玉釧等甚重寶礼義能よき国なり
世諺に漂客の財宝を奪ひ取ものと
錢こうするいつくしうの一足の雄犬まうけて神后よ近付訓めるよう
竹ふかの尾をふり伸き先立行ばしくしく
ひろう教えて月日をとるる彼大海を
越ふ入跡よ消て本菓実球をこして
月日を送るあやしくも遂よ犬のみとなり
小菓て个まう秋人の祀えるを夷ども女夷い犬
男夷い犬抗の後胤なりとぞ伝へ
```

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28
```

男夫ハ太抗の後垂るゝ迄伸ル

服夷衣ハ多クの神を祭る時の酋長たる男夷
冠（ニハウニ）イナウルを戴き木皮布（アツトシ）を着したる容貌（スカタカタチ）もよく夷ニも
て（テレクツ）ハ不同之エトロフ洛の夷人あり今略して此
後ろかしら墨ニ髪ニも本邦の茶筅髪ニ似て髪を
ふかあり次

髪（ニロンヘ）ホ　髭（シヤン）項（キツトル）頬（ランパヘ）眉（シキ）眼（イトフ）鼻（ノメクム）
睫（トクツ）毛（ケ）　髭（シヤンケアハ）際（アハ）刺（ニシカル）耳（パアラ）　唇（ホケハクアフ）口（イン）
乳（トリ）腹（ホカミ）　臍（ヤトホ）　脊（セトホ）骨（タツピ）肩（イツケウ）

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

ノナシリ地名イコリカヤニ
肖像酋長トキイ三男

服夷人集りて神を祭る時は皆大礼の衣服を着す冠(カブリ)一名又(マタ)烏帽子(エボシ)を戴き木皮布(アツトシ)を着しなり容貌(ヨウボウ)魁偉(スカクカイヰ)なる夷人も不用(同)之(コレ)トロフ酒の夷人あるに会して必ず酒宴(シユエン)をなし男女(ダンヂヨ)共(トモ)に本邦の茶摩踏(チヤマフミ)の如き舞踏(ブトウ)あり次

髪(カミ)ヲトリアゲ髭頭(ヒゲヅラ)眉眼(マユマナコ)鼻(ハナ)
髏(ヒツケ)髪(カミ)髪際(カミギハ)耳(ミヽ)舎青(シヤセイ)
腕(ウデ)手指(テユビ)爪(ツメ)臍(ホゾ)脛(スネ)瞞(ウトマヽル)腸(ハラワタ)
文體の美名を通と洗濯して用(モチヰ)うる故なり

女夷(ヲンナエゾ)は総(スベ)て眉(マユ)を画(エガ)き口(クチ)を文身(イレズミ)し上(カミ)は木皮布(アツシ)衣(キヌ)を着(キ)し下(シタ)は鐵器(テツキ)を持(モチ)る男(ヲトコ)に女子(ヲンナノコ)の通稱(ツウシヨウ)メノコ又(マタ)メノコシ娘(ムスメ)をてチヤホウ婦人(フジン)をてチと唱(トナヘ)訓(クン)じ日本記(ニホンキ)令婦(レイフ)をてチ

こ

こと云(イヘ)り男(ヲトコ)の妻(サイ)を娶(メトル)るを聞(キヽ)て男(ヲトコ)の髪(カミ)を切(キリ)て厚(アツ)く葬(ホウムル)るを以(モツテ)本邦(ホンポウ)の舅(シウト)に事(ツカフ)る婦人(フジン)の如(ゴト)くなり

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

女夷玉笄我人囲玉輪をうけ水衣を着し上ゟ牛皮帯
うけ鐵器とおるる弓矢女子の通稱メノコ又をメノコ
娘をてチホウ婦人をてチと呼ぶ日本記令婦をてチ
訓しうう髪を剃て男のとし三年ゟ毛を掲まとに冠りて裏く
お邦の鼻髭の婦人ゟよふ髪を切ん
口文候玉輪脛裹襟懐袖袂上前裾

女夷交易之図

夷人交易ゟ
右ロツチヤカモイと
神ゟて禮ゟ人ゟ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

女夷文身之事

夷人云伝ふる古ロッチヤカモイといふ神ありて禮ロ人斗多の先づ神なり其外なほ神涙猟の先なほ数柱ありし七舎よりて西域より夷ふるひ戦闘おとをも窓よりあふぐ涙猟の術をする妙技なるの涙猟の術を学んとをまねび数へ果られして夷人おを輝ふやいかにをもてしるふ神書人ありて其文身有夫妓る彼神の徒を慕ひ来りて伝へ初めて女夷も人今ふるふ

文身さと古老の伝説ふ彼

曲址録ふよりあり云中ふ陶器を砕けるかけらの文ひ甚ふの家を飾ふるふ

日本記神武天皇己未年二月條小日高尾張邑有土蜘蛛ふ人為ふ身体皆文ふ

北着かふ看ふみしやいのまふ伝ふ

西亜人事ふ窩也ふ云事ふ指入ふ墨ふ

淺り倭ふをかく染ふ伝ふるふ

後やふもふし文をふそわさいふ

帰人皆多ふ文理ふ

ふし亦コッチ神の旧址ふ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

文明さいしょの年の仲秋曲址翁ここにあり。ここを中心として陶器砕けて彩入の生の新しき粒この家をめぐりてノワカマップ北名この商長ショシ洗り流

日本記神武天皇己未年二月條不日高尾張邑有土蜘蛛

人為之長兄磯城長兄猾長兄猪祝等皆帰順

西亜人来り富也此事を掘入て彫を仕れて彼土へをきなる古

渡り住しを以て誤伝ふるうち人々ここもの彩ちさる美人ふ

彼やこもむらし文をるをもやさいうそうそうちコッチャ神め

婦人皆多き文理をあせしを孫く思いて初しなしうる

へし永コッチャ神の旧址を掘れいるく通明るの彫れうく

石器両斧等のおびし後毎年春

ニヤモコリ地名この商長ノチクサップ

毛皮アゴをかけしとの人類

ニヤバウベ亦名石器時代人の冠と鉢巻の

名ウトハ多き渡べとハ異しふ意こ事

して彫製をこトミサンヘツと云る時

ふ神宣授ケ給へしまを伝うう

元服の礼とお用しよ祝い七十

ここ年慶しうとこ子モロ北名ニヨンコ

商長名といふ夫婦渡る男夫

九十六の渡る如の今外まて

布帛を求メ猿皇裸となし

るたへ度附て之処まで今

神酒飲のお乙名望長役名

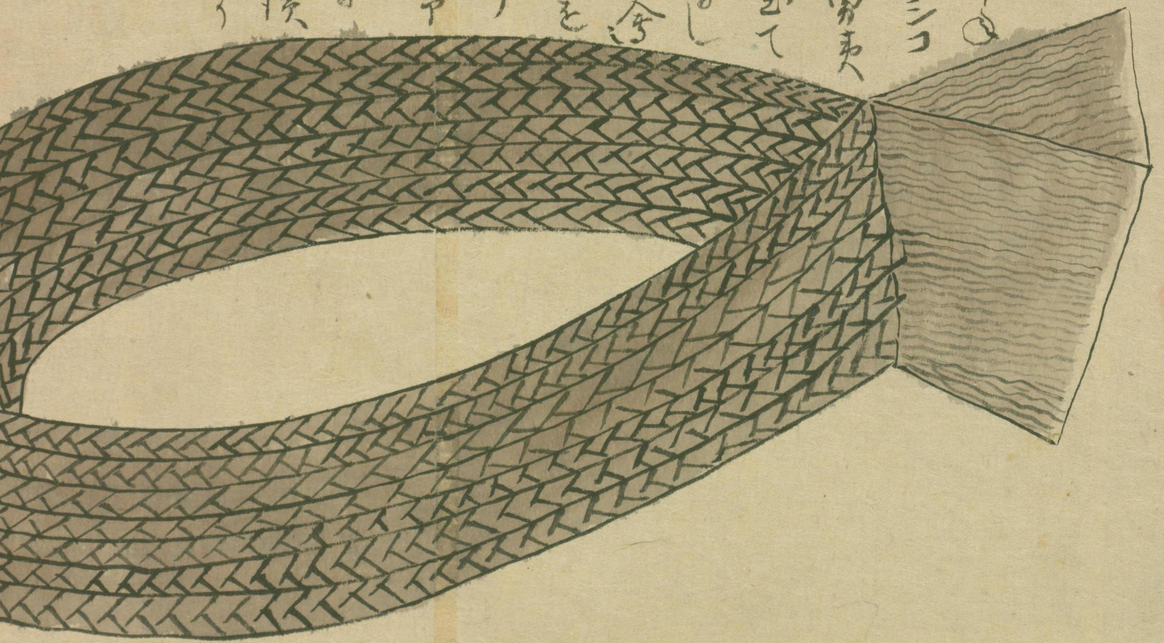
名おしニヤバンベをかあるせウカリの

総音さ彩さしむ古例ときと平

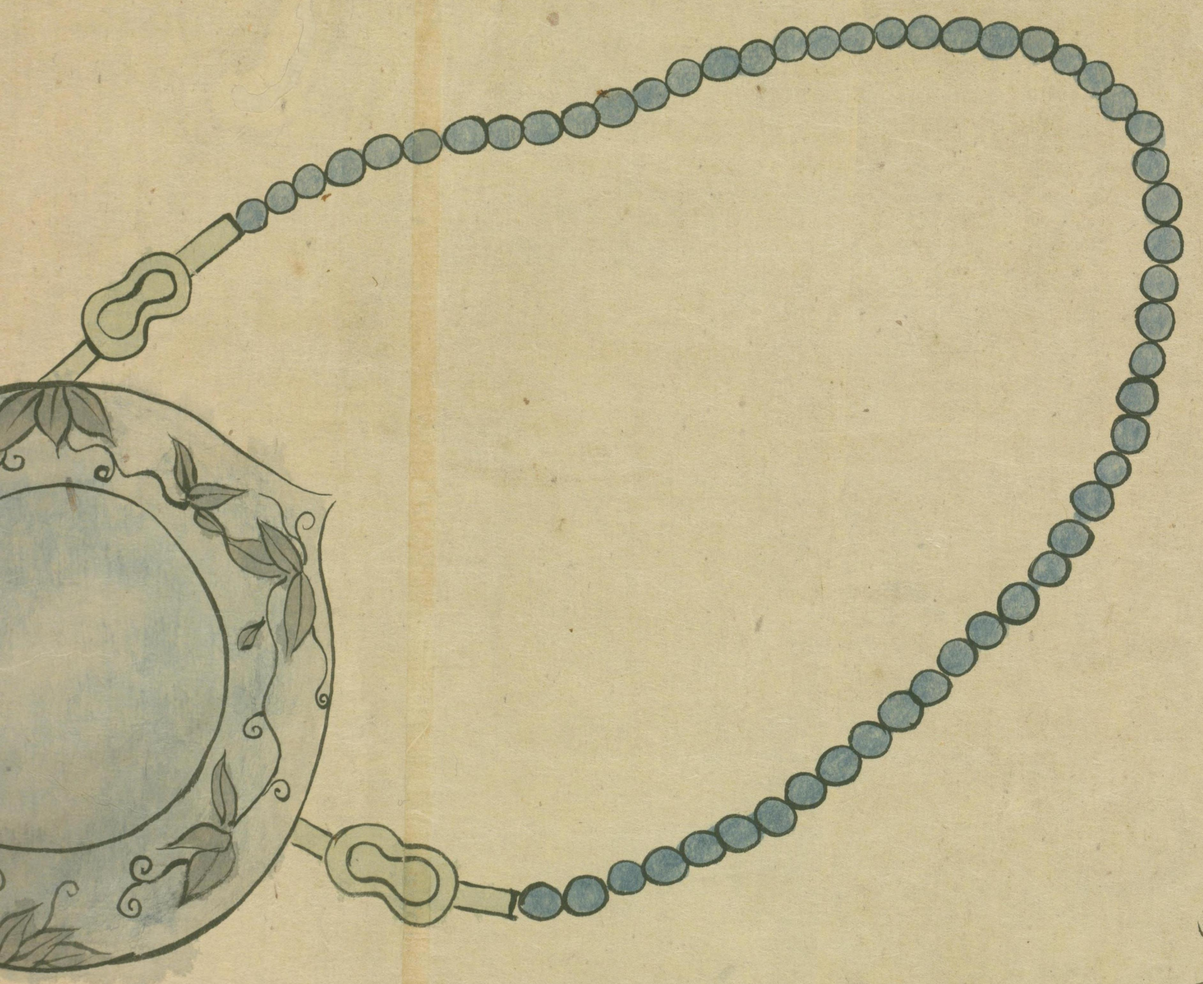
言如汉元のし両心の服夫死み

むるある商長改よ今ここ市廣

ニヤリの辺なる形状女し残れり



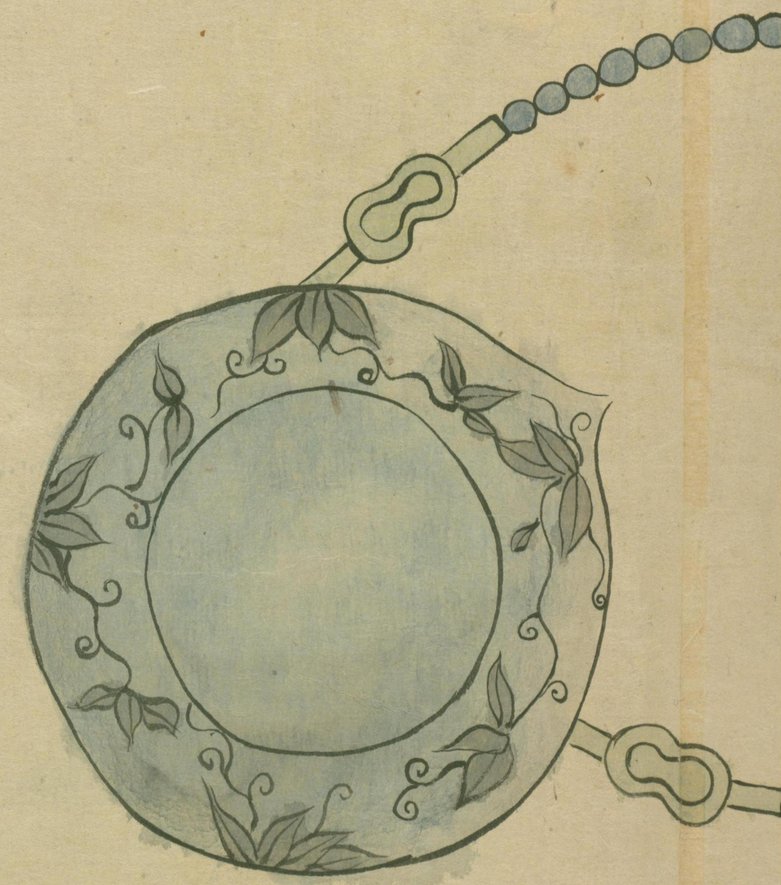
国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28



シトキトいふ女首よりかけ称よき品と古物なして恨等の抱又ハ古代前所のものと好き是をうけれハ神霊来現後しるし又礼をいはゞよし（抱るよしとハむるといふる浦より昨訓あり

商長名といふ夷拘泊より男夷九十よ六の呼ぶ如の等外まて布帛（ハリ）を求メ猴皀褌（ニート）とし又ハ衣（ケシ）ともし又ハ衣（ケシ）ともし又ハ衣（ケシ）ともし又ハ衣（ケシ）ともし神酒飲のふ乙名（オヤ）ハ長役（オサ）ハ衣（ケシ）ともし石ぶしシヤバンベをかふりウカリの礼等を行ふさしも古例ことき事如改元ことし両小の服夷化ふむる商長等よ今ハ夷廣シヤリの辺よう船状ふし強めう

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28



イナホと磐梯の神をまつる夷地ニ布帛(フジ)紙ヲ以テ木ヲ削リ掛ケヲ作リ幣トス都(スベ)テイナホと夷名ヲ称スル国ニ必ズアル物ニテ稲穂ノ形ヲ多ク製シ酒ヲ醸シ国ニ本之刻アル物ヲ作ル処ヲ行フ時ハ柳木ヲ用ユ也ト製シ祭ノ時ニ逆ニ立テ祭ル

ウルプ鴛(一名望高)エトロフ島ヨリ東北九里ノ地ヲ製セエトロフ鴛クナシリ。キイタップ鴛猟虎(ラッコト。清人文字ヲ製ス)ヲ獲ル大サ六七尺人ヲ害ク色紫黒席革ノ絶ヒ目ヲ縫ヒ時ハ股ヲ上ヨリ巻ク始メ常ニ着テ後リ地ヲ製セエトロフ島クナシリ。キイタップ鴛猟虎(ラッコト。清人文字ヲ製ス)ヲ獲ル大サ六七尺人ヲ害ク色紫黒席革ノ絶ヒ目ヲ縫ヒ時ハ股ヲ上ヨリ巻ク始メ常ニ着テ後リ従捕トスルわうお

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

ウルプ洛（一名ヒトカップ）エトロフ島より東北九里ばかりの地なり。土地を開墾せずエトロフ洛のごとなり。キイメウプ洛（キイメウプとは洛人文字を刻むの意）と稱する大サ六七尺もある熊多く従扈となりわらわらく色紫黒席革の絶ずとぶ

猟虎洛（猟虎とは洛人時々服を上ぐ海狸せず又洛よりもときて）

おのく列坐して先ず客人（マレプンクル）を遠（ハルカ）く会堂に迎え入れ次ぎて客をも招き右左（ウサ）へて我頼（ヒノ）のあるいは上ぐる物（モノ）を置（オカ）し備（サケ）を進（ス）め甲斐（カヒ）あるを喜ぶ。甲斐とは酒の名なり。かくて数巡（ヒトメグリ）の末（スエ）に至ると数畳（ヒトヘ）の声を發（ハナ）ち笑（ワラ）ひ興（キョウ）を催（モヨオ）して歩（アユミ）を泳（ヨロ）ばしつゝ舞（マヒ）を乱（ミダ）れ礼状（ヒレフリ）（認容（ニンヨウ）の意）を為（ス）す

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

ウリ、と云るハ親よ兄弟族友の年久しく對面の絶たる者ハ其節前の如く礼を礼し次ハ老たるより若きハ頭面耳のよきに至るまで掻(カキ)撫(ナデ)ロ掩(カク)耳し夫より手足(テアシ)肩(カタ)より身(ミ)の如くいろ〳〵手さきて漸く親を肩(カタ)のごとく白(カウ)と云会せ口(クチ)さめ〳〵と泪を流し

歩(ホ)泳(エイ)敏(ビン)し言(ゲン)ふるまひ礼状(レイジョウ)認(シタヽ)め文(フミ)

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

ウリこゝろ
ハ釈ま
ず兄弟族友の年久しく對面の絶ま
たる会ひ
形節前の如く礼を厚く次ハ老
たるより若きものゝ頭毛耳のよき
毛を抜(ヌキ)むしりて捨(ステ)し夫より
にも〳〵男の如くいよ〳〵もてなして漸く
肩(カタ)のよき白(シロ)を入毛会せ尽さめ〳〵と涙を流し暫時の程云ふも
やうやうにて立退(タチノ)くひの女吾何ぐれと云ふ
女共ハ大(オホ)きに落(オチ)ず對(ムカ)ふ人形(ニンギヤウ)毛(ケ)ハいとく抜(ヌク)ゐ次ゐ
右の食指(ヒトサシユビ)ハ我鼻の穴(アナ)に指(サシ)こゝろ又神(カミ)そ

女共狩ハ大ニ異ニ一對ニ人ニ対シ
右ノ食指ヲ以テ我鼻ノ穴ニ挿ム事ヲ

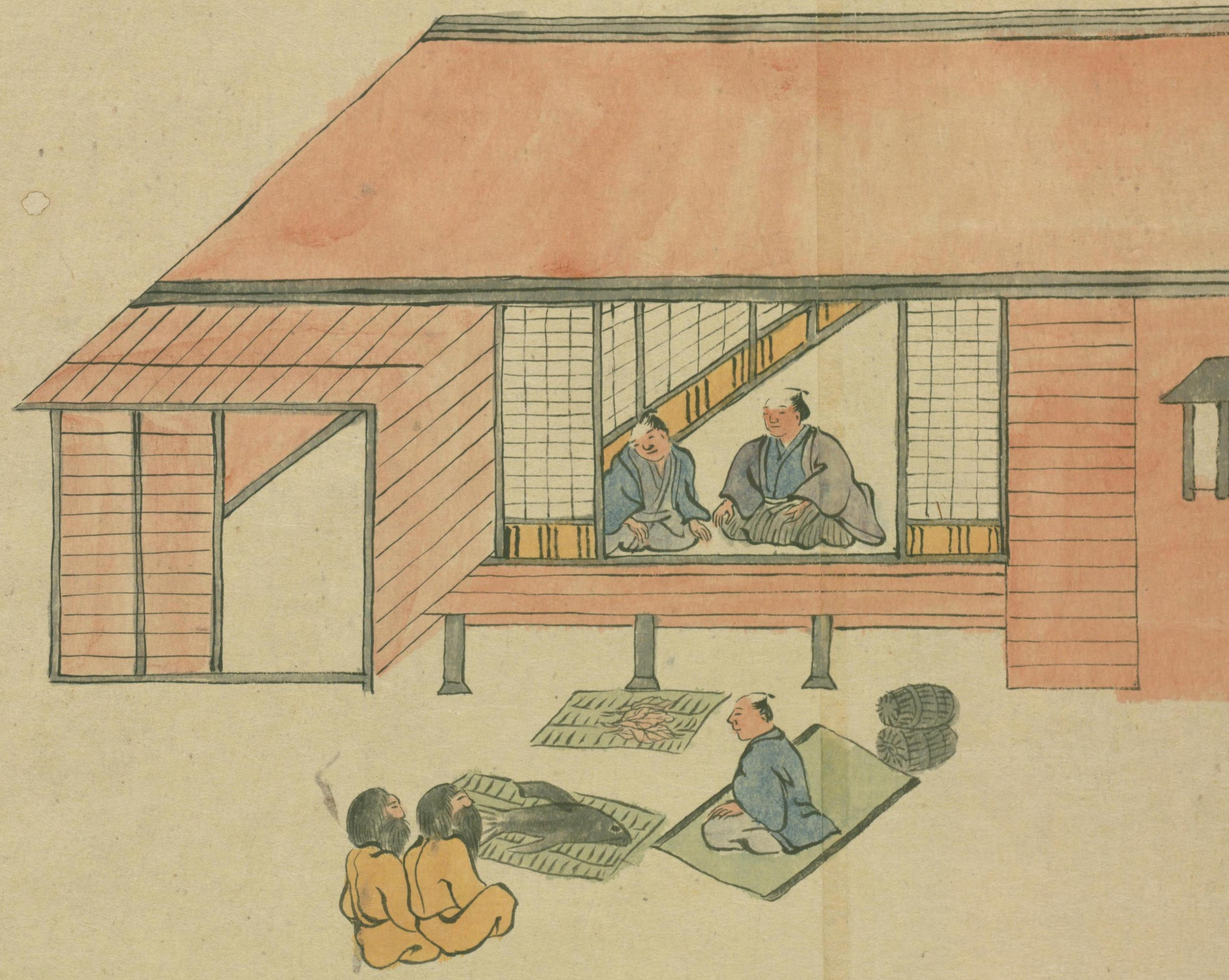
ケモノマシラン フユウ
熟漁蘭よ海松をる付い
ち側(クメメトカヲカモ)恐多鬼の如きる様(ムラカ)き
夷をるをえて舟球溝(コリ)中
いろし静(ヲッブ)かまる礼十る斗よ
(タキエ)御馳

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

獲来りて夥敷出せし
其衣服煙艸をあらふ

獵漁潮よき処を見付
弐艘乗そろひ舟戦溝中
いろいろ計ひ
こきを魚捕(タリブ)を以巧(タクミ)に擲獲(ナゲエ)ル

獣(ケモノマデ)漫(ラン)漫(フ)と浮(ユウ)泄(セツ)する状
実(まこと)に夫(それ)蛇豕(だし)の如
きにして獣(ケモノ)の瞑眠(メンミン)を擾(ミダ)



国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 ヘ二-28

獣漫湖ヲ落泄スル状
ヲ示ス 夫多此状ヲ
指シテ獣ノ瞳眠ト嫡ス

監製トナシタル者

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 ヘ二-28

鑑製とおしかる可

海狗腎　鹹大熱ス毒

教曰用酒漫一日紙裹炙香剝搗弐
服器中以酒煮熟令薬時珍曰
入漢椒椿樹皮同収則不壊治男子
宿癥氣塊挨令労氣腎精衰
挽多色成労瘦瘁

ヨハまつぷ栄

西地ヨコシリ多く栄ス

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

ヲヽまつぷ湾

西地ヨコシリ多く栖ム

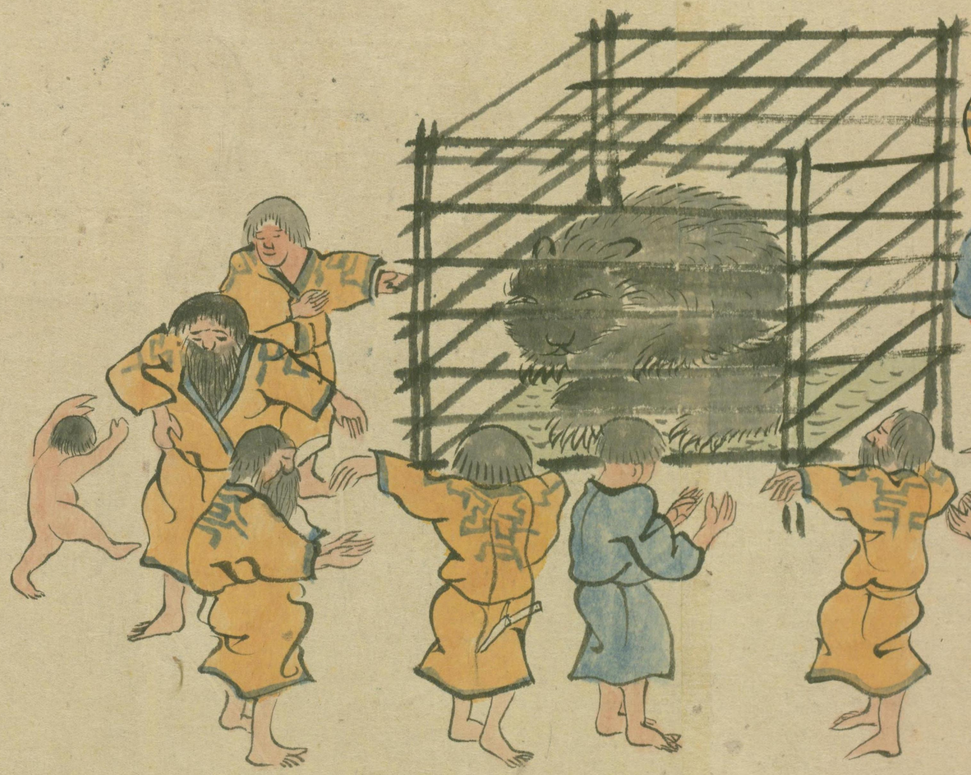
イヨマンテ一回イヨマンテ完熟の大祭事ヲ
初春ヨリ深山ノ猟客終分テ飼馴シ夫ヲ熊ノ檻ヲ
さらし発薬ヲ与ヲれば家婦まある之乳味ヲ以肩ル
生贄ヲヨリ若キ熊ヲ入ヲ土ヲ以テ
月ヲヲれば長シテ大熊トヲル日ヲ
親族隣友ヲ集ヲれヲ賓人造ルヲ
ヽ餐ヲ神ハ今日ヨマンテセヨヨリ
集夷籠ヲめヲ躍ヲ以刺テ
並人和ヨ文荏ヲしき備熊ヲ籠ヨリ出ヲ事ハ家婦ノ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

イヨマシテ一回イヨマシテ完熊の大祭事ヲシテ熊を殺し神を祀る初春より深山の猟害我分て飼馴(カイナ)しうる夫ゝ熊の悪しれ我さらし発蔑(エ)うるをいれだ家婦よあるゝ乳味を以育生贄(ニツ)うる若きい熊よ入室とゆゝ食い美肉を饗ふそ十月ほもれば長して大熊となる日をトーて酒食(ヤキナ)を設(カル)親族隣友を集うれを賓人造(マラト)といふ餌食(リムヤ)しおうて祝宴ら神ハ今日ヨマシテせゝよゝゝ餌食(セ)を刻てよゝゝ集夷籠をめゝ躍(リムヤ)をなけめの幣束(ヌサ)を作製しゆ植よ並べ祭文(ヨマキナ)を読上し事ハ家婦の古例ゆゝ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

子供数人の中より一人両耳切り去り脊より縦に筋法ひ牙あるところを取り仙侯よろこび松の方に向ひ矢球放カセイシヲセンテノウと呼ぶ夫より男夫ハ嬰児（エイジ）を負ふまゝ仮ごろ矢を製し一村を去る時ハ前長の一男ゟ又ハ惣領を領主家のよの村初ゟ矢の中るを府いつゝ



国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

長八九尺半を弦本をこなの称
上より矢を取りとりそえ押へ胴一ツ
白浪作りの右刀を前斗当るをヤ
よりて雛り夷ら栗の実(トトキ)楽を苅(マキ)
おけきら陽氏婦(ツヒ)まろびしとあり

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

造飾（ソウショク）

ヌンヤサンカメ 御代と称する極上品

よそカ（ヌンチャップ）領刀（エモシ）玉器之部 金銀珠

長八九尺中太本ニて称く作りて上品ニして上ニ押（胴）ニ横ニ白浪作りの古刀を着ニ当てビヤ（ヒトキ）と丹ニて雅ニ夫ニ栗の実（マキ）を苅かけたるおけきニ作りて婦人（ヲンナ）まろびしとあり

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号　へ二-28

造飾(ソウショク)ることヌシヤサンカメ幣帛(ヘイハク)を俗(ソク)に椙(スギ)と云
綾(アヤ)ある器柱(キチウ)にかゝりあふとなる宝器(ホウキ)を出(イダ)してあるあひだ備(ソナ)へ
たる盛(モリ)を席(セキ)の中央(ナカヨリ)まで夫(ソレ)より段々(ダンダン)に置(オ)きさし
さし免酒食(シユクシヨク)を供(ソナ)へ祭(マツ)る終(オハ)りて
我神(ワレカミ)至今為神(イマニイタルマデカミトシテ)送兄(オクリアニ)夫(ソレ)より祢宜(ネギ)
明年(ミヤウネン)我月(ワレツキ)執之(トリ)今兄(イマアニ)
其命の男女(ヲトコヲンナ)ともに会集(アツマリ)て神の出立(イデタチ)を
まち行(ユク)ことを留(トヾ)めとゞめ祝(ハフリ)神酒(ミキ)飲(ノミ)をさゝげ
終(オハ)りて

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

滞ハ支配人等ヲ賓客トシテ手厚従僕ノモテ迄モ酒ヲ飲飽サシ免テ
ニ日ノ中ハ躍サセ又翌日ハ魚ノ皮ヲ剥肉ヲアブリ
ニシテ喰ヒ残ハ木幣ヲ立テ又ヒヤリ祀テ
ヒヲ立テ杭ノ長サニ丈半ヲ彼皮ヲ巻セ全躰ヲ仮ノ衣被ヲ
カヌサセ酒食ヲ供シ祀ヲスルノ行ヒ又家ノ中ヲ
少シツヽ異ル 娘夫婦ノ魁ニ種行ヒ回
ノ又長大ナル 稀ニ涙ヲ流ス大ナル人ヲ殺シ人ヲ食ヒ先祖ヲ祭
夷ニアルキツプハ事ノ益シヨリ 娘夫婦ノ
前羆ヲ倩ヒ大木ノ精化シテ事ヲナスヨシ 娘夫婦ノ
拵ル又化テ木トナルヨシ 本草綱目物像ノ
精妖ヲ悪備ヲ尾名ヲ彭侯所以食ヲ精霊ノ変ヤ
日魅日白熊此二種エトロフ海ヨリ出ル所ノ熊ヨリ
色黄赤ヲ魅ヤ建平人呼魅為赤熊陸機疏羆為黄熊ヒ
羆ヒ長脚高猛悪ヲ能扳樹木ヲ倒ス長ヒ羆人則人ヲ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

雫(シヅク)捏(こね)の粉氏家の後を探(さぐ)れ
すべく弟子を神の製
もろもろ兼眠(かねみん)をもよ神を
望しもろもろ仏を偕(とも)け朱幣を
其償をこうる

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

雫掛の梅氏家の後ろ
すべて弟子を神の製
もって兼職あきやま
望しもって本邦の人
其償をこうる

迫懐夷地居家

千七百年の名字形を方り
近衛民間大の量の神と家の敷を
用大いなる神と家の敷
作りて古志呂加奈しおん
戸八一本彼風にうつりを
迫き夷地に窓の竹又入口
のごとし

家の造りは板のごとく木綿を立てる
方名スキといえり年ごと神社
して祀る時は藤にて奥歌の歌を
奉るなり

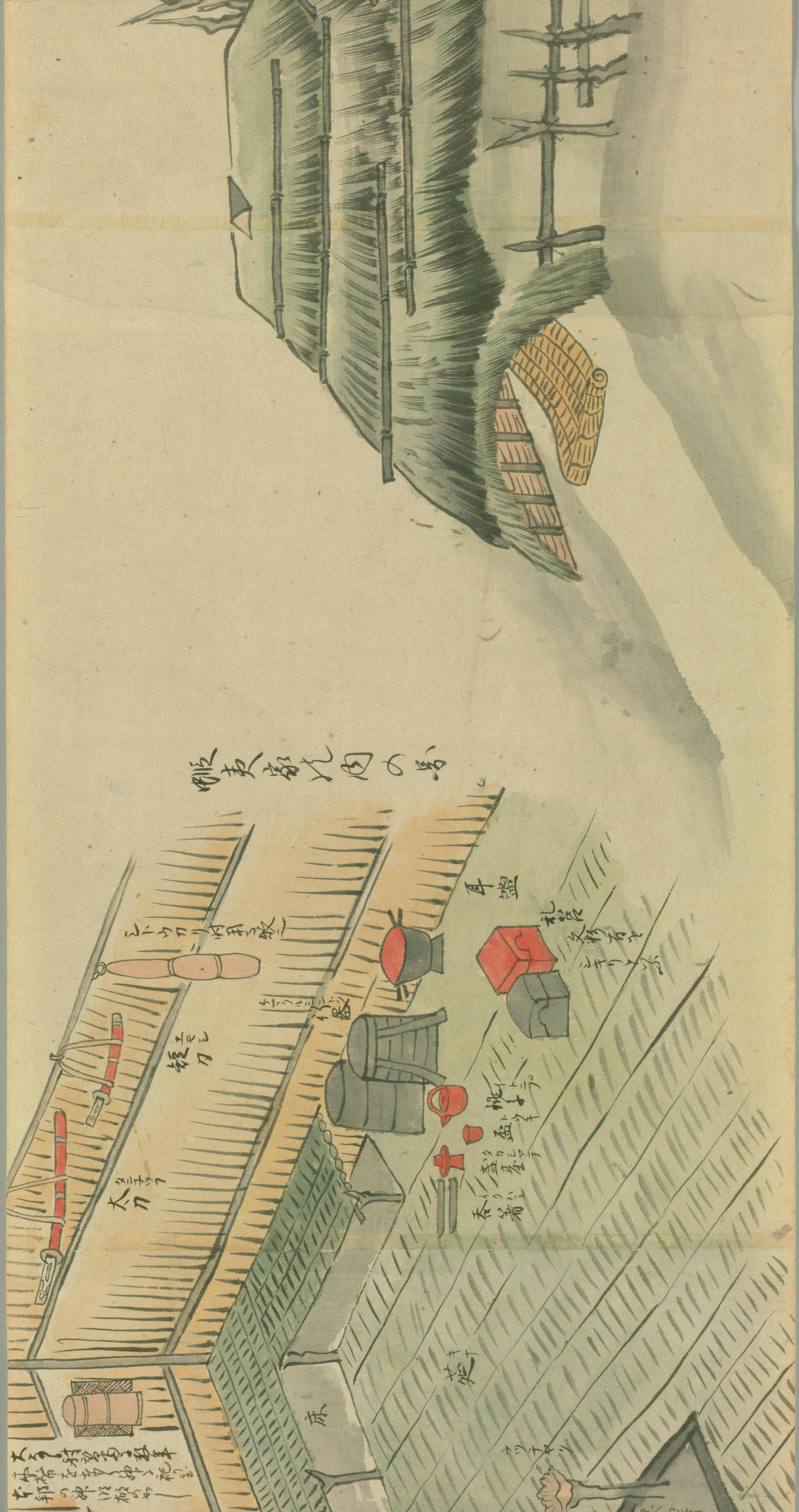
西懐夷地居家

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

画帳表紙屋家之図

舞の遊子は板のごく小帯を立てる
方名スヤとしてう年子神社に
して祀る時は疫病の災を
奉まつる

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28



国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

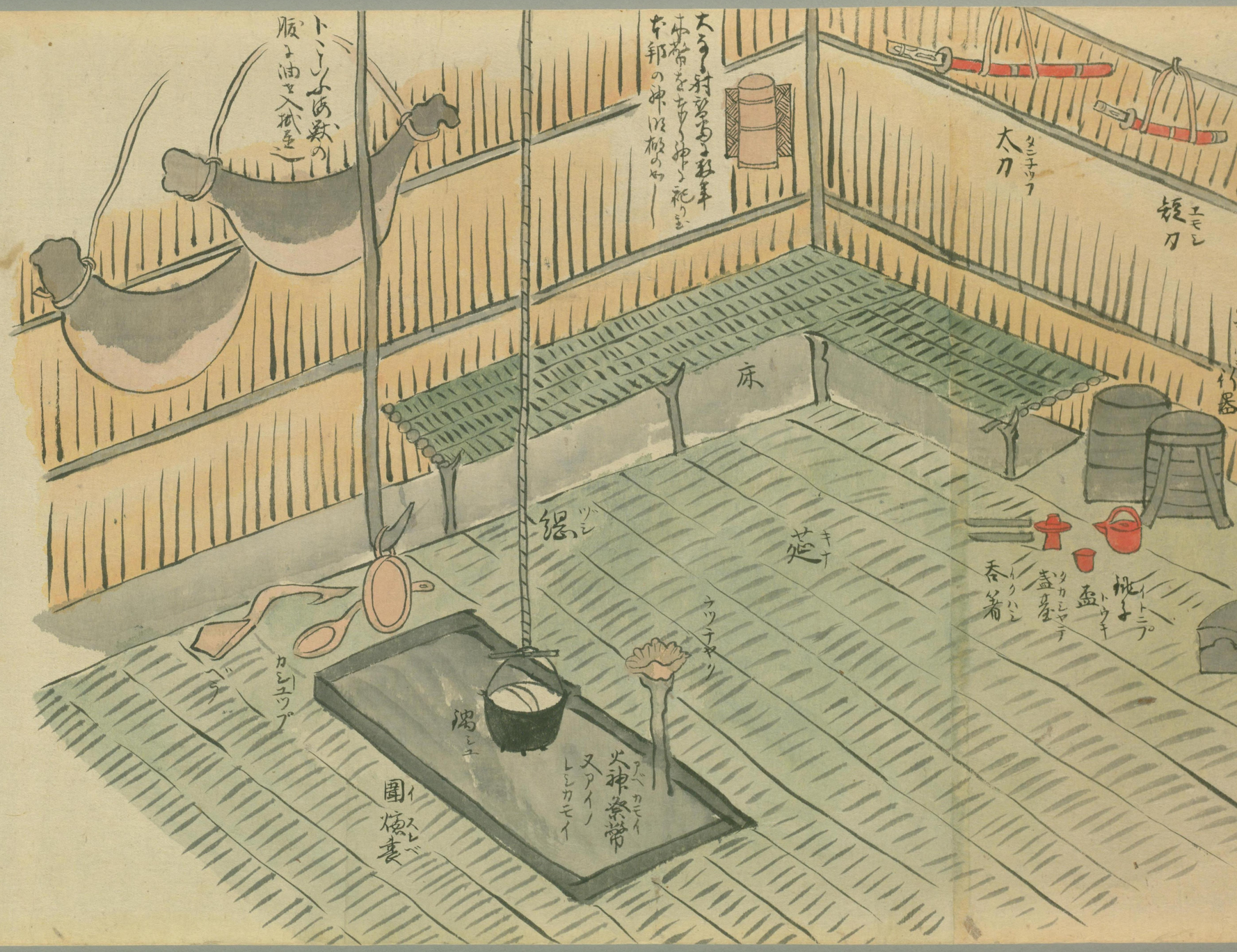
弓矢製作

鉄（ヤジリ）は熊笹の葉と以て製し爲毒を搗爛し如雲のぬりて魚獣の肉中へ射込い忽死とし又敷る草葉爲頭の條下に而雖朝ま
て毒矢を利用せし梅まるよりカラフト山をより創設傳ふ之

頸昭公

袖中抄曰

あしまやみ沼の蛭子のつらるる毒虫の矢うやひとをあやまつ



国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

弦

テキシヒケ
一スム

ニウップ
羽

ニウップ

マカニ

ルム

カヒシ

麻角ヲ以テ
製セリ

ヲレヨロ

カリンバ
桜皮
ヲ巻セリ

キルコ

鞆ヲ射人ノ
左ノ手ニ付テ
ヌル人ハマヽテ

弓矢靭等

鉄ハ然共ヲ以テ製ス爲ニ鏃ヲ揃ヘ如ノヌテ魚鉄ノ
内中ヲ射込ハ忽チ死ス故ニ本草爲頭ノ條下ニ附離鞆ヲ
シテ毒矢ヲ利セヨ〳〵按スルニカラフト山ヨリ創製ス所ナリ

袖中抄曰

あらまし〳〵やまぶきの蛇矢のつらぬる毒ゆみの矢ごろも
ひたちをあさるを

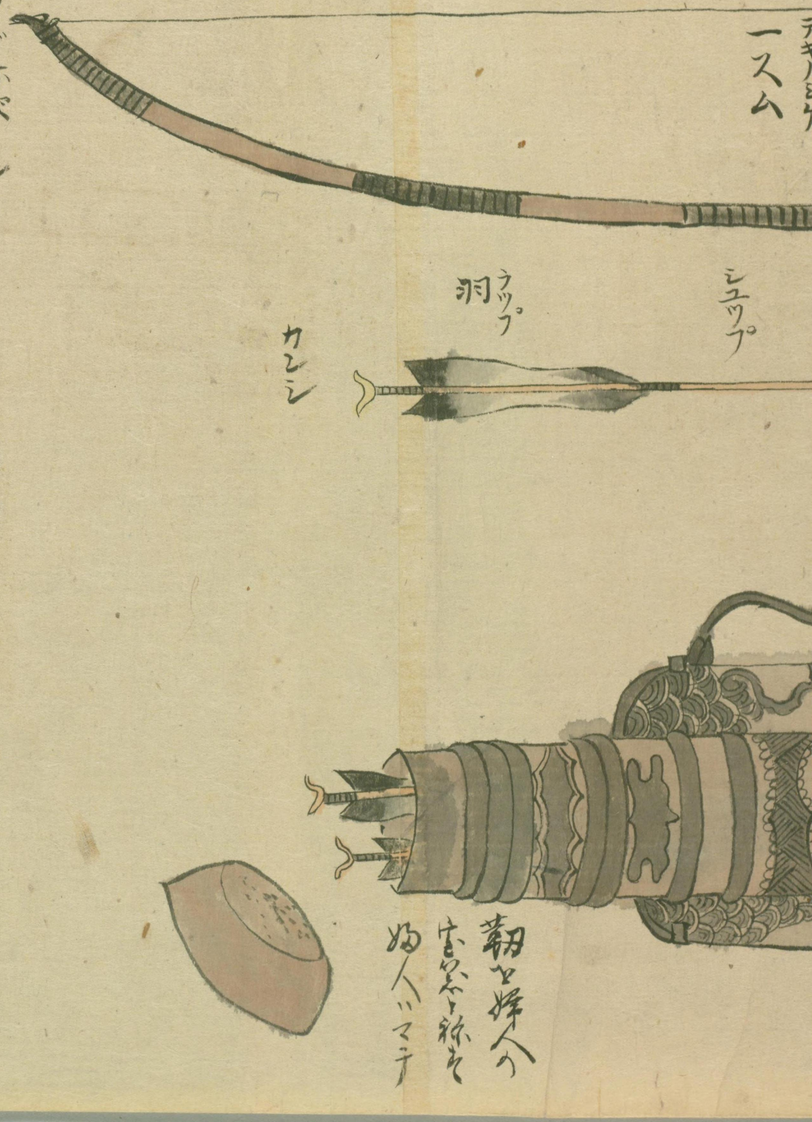
顕昭云

毒氣の矢とは大くは蛇ヲ射殺シテ其毒ヲ以テ矢ニ塗ル故ニ毒矢ト云ヒ附ル矢トいふハ蛇ヲ射テ甲ノ有ル角ヲ以テ矢ニ附ルヲ云

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号　へニ-28

山林曠野の中小鳥のごとくあるもの、我が射る矢の当サを考へ本をこゝろ掛て張るの矢きこれ毒矢なり是を射殺さるゝ事ソウというもの多し

アマブホアマリウ



国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

婦造

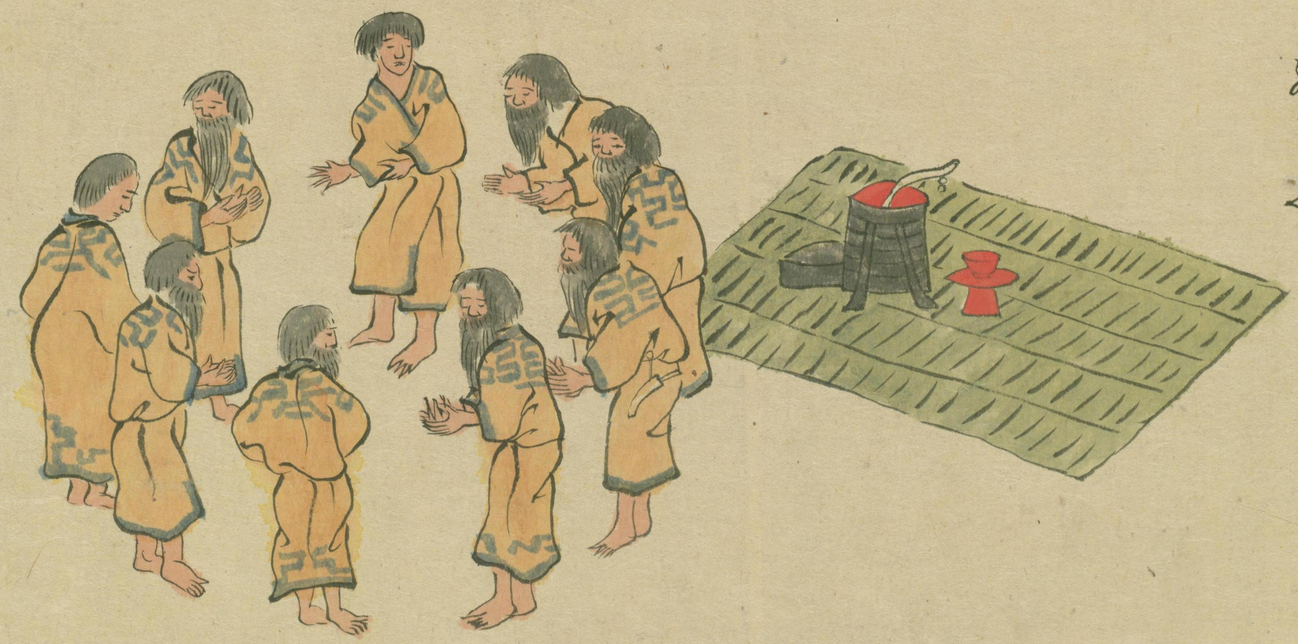
マナコルの圖

マナコルハ嫁礼のゆくゝる報ゝの
ゆるのゆゑ又若年ハ
ゆゑ稚ゝの家を女の家ゟ聘
ハ勿論なれ共大抵古刀一振を約
ひおつけをよく女兒成長
妻合して海魚山猟の事
ゆゑ我父母の扶をせて
にて妻を淺りぬ倩荘
人を向ゟ本邦ゟ
家ゟ妻を入ゟ
ゟ後ゟ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号　へ二-28



ウカリ穢云の事

うかりという事は夫婦ある時に穢云ふ大サニ尺余の根を人毎に不拘一家の内より拾五六本より廿余迄を集め置るるを其家の内に穢ありと云ふ喰花口論の後歩合て自然もるるを拾い集めたる文字数しれず貝うろうそく洗次を書記したる物也其家ごとに不拘也其家ごとに銭(アシ)償(ツグナイ)という事也穢(ケンソウ)根(コン)女肥(ウカゴエ)の義と云ふ事也

一家の内に穢ある時は其家ごとに許容の備物をこうして神事の精進をようして宝数種をこうして其族集り食事をおさえてウカりせんという時は双方親疎を不論犯したる者を梱(シキイ)して二度并次よお互事

タつカり一回り赤田ヨリ赤ニ雑踏のゆへ二番く大同小異ニ付くさ〳〵略ス乍去多の鏡花をうつしたる葉と乃而酒宴の時客よ主人すゝめ先刻ヨリ立て置たる葉ふくめ取ル呈振舞の古定法よりおもてなし

ウカリ穢妻の事

ある時夫服あり財い秘妻は大サ三尺余の柩を人毎に
不拘一家の内より撰ミ若き男女数多集り誉よ波薦の数を負
歩合て四五丁も送りて後ち跡いまで文字数しらず
負ふ方より呪文を書記しに不拘ち宝ものを
して中ニ壱銭(アセイ)位ゝ小刀(ケンソク)櫛(ウカゴノ)女肥の器し家内
ニ事の性をよろこびて宝数種をこうそ許実ニ備宝と
おさ思ひてウカりせんとふ時ハ双方親族集り元器械
犯しなる者を梱(しばり)そ之後歩次よろ弱(キャウニヤリ)ようて只一歩
礼て安全ニ帰(かへ)りナヒよ及ハ之事ニ
ず勢死(たしに)するものハ又半死の病ニ
抹迷(レニ)のごい業(わざ)ニ
気慢(イマン)なく勤るなり

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

ウカリする時は双方の親族集りて盃式ことを
葉ありをつけ方をそのよ振かけくへウメキ時の声々
助ケ あけて補

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

二日卯ニ一日ケウ卯ムシウ兎ハ筒長ホを境ゝ玉海陸ゟ場
なる時ハ乍ふ事ニ先神ゟ陸舟ゟ為ハれいゝ
男女ゟの如く古万樺(アヤ)地の新しき板連
めゟめの如ホイくとあれゟ逃ゟ時ゟと云男夫ハかけゟ
して蜀(くし)ゟ渚(いさご)をひろいゐるゟ御(オトリ)かけゟ歩行舟の方へ
勢ひ強ゟ近ゟる舟ゟうゟ兎をゟて古万地板もち
かけゟゟをゟしく舟球近め亦舟球二
ゟのゟくゟりくとゟて九二三町ゟ退てゟ岡ゟ舟球
渚ゟつ招き皆ゟ古万御ゟしく近ゟれ
ん〳〵来て今初メ樺ゟ土人今ゟ時の
〳〵ゟ別ゟる中ゟ従僕ゟ席ゟ設ゟ
祝如式ゟし互の要人生球酒ゟつきて

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

勢し警る近こる舟ろと見をつけて右刀抜放もち
かけ多をはしく舟球近め亦舟球二三反漕山を波の
ものもくろくともてれ二三町引退てまた舟球
漕よつ招き皆こちか婦つかしく近こりくかふれ
んくまりて今毋文様おと女今も時の形をを揚てお右
一さ刻る寸中ま疑儀ろも席と設全安着まつきて
将如武ろ一直の要全球酒まろ

西北夷地まで行る士絃の器俗帳夷三味線と云長四
三弦倣ふ法て曲半借まり調る一順のろ三女法同調ろ右の合拍ろ
如一

曲名

ヨンケツ プいろエ　ユルリ イモセリ いろエ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』 請求記号 へ二-28

西北夷地より行る十絃の器（俗悪夫三味線と云）長四尺八寸餘にして曲甲彎り調子ハ一二三絃同調なり右の合拍を以て奏する事多し

曲名

是ヲ蝶吾（プハウエ）　造弖吾吾（ユルリイモヒリハウエ）

軍三（トミヤン）河吾（ベツハウエ）　溫泉造（コルユハウエ）吾

大山蔭水（ホロノホリラロメツキヘハウエ）吾

鯨神鯨戰爭吾（フンヘカモイフンヘウコイハウエ）

造酒神（カルモシリカモイ）山神（ホリカモイツヲノ）列

右之曲ハ何れも宴席ニ於て奏ス

サイモンと云事を行ふて婦人を娶淫（イン）或ハ陰（イン）密（ミツ）の名ある時ハ吾妻を神前ニて後神より之人數湯を汲く湯中に小石二ツ入て是を探らせ一ツ陰密なき者ハ依之て腐爛せずと云故ニ婦女ハ時として腐爛せずと云故ニ婦女ハ時として生涯處女ニ有りサイモンの神ニ奉る祭文の解ハ

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28

送汚神山神(カルモシリカモイ　イヌシリカモイ)ノ列

茶まき仏を宮中に祭る

サイモンと云ふ事を行ひて婦人多く姦(イン)或ハ陰(イン)悪ある時ハ其ものを清浄して後神よりの人数の湯をはく湯中にハ石二ツ入て是を採んとせしむ陰悪をき者ハ石依然として腐爛せざるを以て故ある婦女ハ時として渡廈人となる右のサイモンの神解しかたし按るに神を奉る祭文の称名ならんか

萬延元庚申歳秋七月於クナシリ陣営式家写時模

萬延元庚申歳秋七月於ノチシリ陣営会家臺模

国立国会図書館　タイトル『蝦夷島奇観』　請求記号 へ二-28